



新城 哲 議員

ひとり親家庭の自立支援の取り組みについて

質 ひとり親家庭への母子及び父子家庭等医療助成の取り組み状況について伺う。

答 福祉課長(石川司)

令和3年度実績は、認定者数が165名、支援者数が110名で助成額は238万円、これは県のほうから118万3千円が補助されています。恩納村母子寡婦福祉会より、母子及び父子家庭等医療助成事業の対象拡大について要請を受けていて、内容を精査し、他市町村の動向を見ながら協議調整を行っていきたく考えています。

質 児童扶養手当支給の状況はどうなっていますか。

答 福祉課長(石川司)

支給対象者は、18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある児童

(障害児の場合は20歳未満)を看護する母、看護師、かつ生計を同じくする父、または養育する者となっています。令和3年度、県の確認した実績は、認定者数が163名で、沖縄県から支払われた支給額は7,788万2,770円となっています。

質 保育所等への優先入所、また母子寡婦福祉会の活動支援、支援ニーズの把握と村独自の施策について伺う。

答 福祉課長(石川司)

保育所等の優先入所は、評価点数を加点して判定しています。母子寡婦福祉会の活動支援ですが、令和3年度実績で17万3千円の助成金を支出し、財政支援を行っているところです。ひとり親世帯に限定したニーズ調査は行っていません。ひとり親世帯の生活の安定と自立と支援していける制度を協議調整していきたく思います。



児童生徒の安全・安心の確保について

質 児童生徒への安全教育の取り組み状況について伺う。

答 学校教育課長(仲村泰弘)

小学校において、石川警察署と連携して「交通安全教室」並びに「自転車の安全な乗り方の指導」を実施し、中学校は、自転車の乗り方の学級指導だけでなく、全校一斉に時間を設け、スクールバス利用時の安全指導も併せて行っています。防犯対策につきましては、全校において防犯カメラを設置し、24時間の録画と管理職等による映像の確認を行っています。沖縄県警並びに石川警察署との密なる連携を図り、教育委員会から各校への緊急連絡を行い、児童生徒安全指導並びに職員研修を実施しているところです。



県民の森について

質 県民の森の運営体制について伺う。

答 農林水産課長(宮平寛)

現在の運営体制は、施設管理者である沖縄県より沖縄北部森林組合が指定管理運営しています。ただし、令和5年4月からは新たに沖縄文化スポーツイノベーション株式会社が新たな指定管理者となると伺っています。

質 現在、県民の森で働いている村民の雇用体制は継続して雇用していただけるのか、お伺いします。

答 農林水産課長(宮平寛)

現在、10名、村内8名の方が雇用されて、4月以降も新たな指定管理者において雇用継続希望者は継続して雇用されると聞いています。



山田区村有地について

質 活用方法についてどう考えているのか。

答 企画課長(喜久山隆)

山田区に有する村有地について現在のところ、具体的な計画はありません。今後山田区の要望、関係法令、事業費等を考慮して、山田区と協議しながら検討していく。

質 その協議はいつ頃入る予定か。

答 企画課長(喜久山隆)

いつ頃というところは、はっきりいって答えられない。各区から定住促進に関して要望がありますので、優先順位をつけて順次取りかかっています。

質 山田は全て村有地になっており、民間地を買う必要もありません。護佐丸の開発も進んでいきます。先祖から持っている土地をできれば、売りたい方もいますので、その代替え地として用意していただきたい。

答 企画課長(喜久山隆)

山田グスクも計画が進んでおり、そういった面も検討していきたい。

オーバーツーリズムについて

質 これまでの状況は。

答 商工観光課長(親泊誠)

コロナ以前に課題となっていました。交通渋滞や路上駐車が起ってくるものと考えます。

答 建設課長(屋良朝也)

真栄田岬線、万座毛一周線どちらも住民から路上駐車が多いのでどうにかしてほしいということがあり、建設課としましてカラーコーンを3mおきに並べ、A型バリケードを道路一帯において路駐対策としている。

答 農林水産課長(宮平寛)

前兼久漁港に観光客が多く駆けつけて、路上駐車も含めまして漁業活動に支障がある、克服するため駐車場、トイレ、シャワー等含め施設整備を、順次実施している。



質 根本的な解決方法ではありません。看板、カラーコーン、バリケード、それも一つの観光被害の中にあります。根本的に解決していくため考えないといけない。現在ホテル計画しているホテル全て合わすと何室になるのか。

答 企画課長(喜久山隆)

現在約5千6百室、開発承認されている施設が約3千室です。

質 村にあとどれくらいホテルが建てば村として一番ベターなのか、申請があればどんどん建てるのか伺う。

答 企画課長(喜久山隆)

リゾート地域への変更を3か月に1遍行っていたんですけども、5年毎とし、高さ制限、40mをもっと低くするべきか検討している。

答 村長(長浜善巳)

ホテルの進出により地価の高騰、土地不足が発生しております。今後自然公園法、農振法、農地法、森林法等適用される場合は、建築制限ができますが、村としては条例に基づき良好な景観形成づくりの誘導に努めてまいります。



又吉 貢 議員

国道58号線仲泊〜南恩納間二輪車通行規制について

質 前例があるので、早急に対応しますと回答しています。それから四、五年たっており一向に進んでいない説明をお願いします。

答 総務課長(山城雅人)

二輪車夜間通行規制につきましては、村長より石川警察署長へ平成30年7月、令和3年7月と2回要請文を提出している。昨年石川署と事務の進捗状況を確認する中で、観光客、事業者社員等へ説明を求められました。村として昨年5月に事業所133か所に二輪車夜間交通規制導入に伴う協力依頼、同地区内、前兼久、富着、谷茶で説明会を評議員の皆様へ実施した。引き続き同区間二輪車夜間通行止めに向けて取り組んでいきます。